

1) - 5 平成 24 年 5 月 6 日に北関東で発生した竜巻の発生メカニズムと被害実態の
総合調査

(研究期間 平成 24 年度)

[担当者] 喜々津 仁密 <研究分担者>

本研究では、平成 24 年 5 月 6 日に北関東の広範囲で発生した複数の竜巻による甚大な人的及び物的被害に関して、(1)気象学、建築学及び防災行政学の学際的観点で総合調査を実施し、被害状況の詳細な記録を残すこと、(2)突風災害に対するわが国の都市・建築物のぜい弱性を検証することにより、今後の突風災害の軽減施策に資する専門的知見を提供することを大きな目的としている。上記担当者は耐風構造の観点から、つくば市内の竜巻による都市・建築物の被害状況分析と地上風速の推定を行い、対竜巻性能の技術向上に資する所見をとりまとめた。また、現行のフジタスケールによる突風風速推定の課題についても検討し、将来の同スケールの改良に資する基礎資料の整備に関わった。